

研究協力をお願い

昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

2型糖尿病患者を対象とした食後高脂血症に関する後方視的研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2018年10月～2020年3月に昭和大学病院糖尿病代謝内分泌内科、昭和大学病院附属東病院糖尿病代謝内分泌内科に入院または外来通院され、「2型糖尿病患者にたいする食後高脂血症についての研究(承認番号：2716)」の研究にご協力して頂いた方

2. 研究目的・方法

2型糖尿病は血管障害と密接に関連しており、2型糖尿病における脂質管理の重要性が明らかにされています。特に中性脂肪(TG)がLDL-コレステロール(LDL-C)やHbA1c、収縮期血圧以上に冠動脈疾患発症のリスクとなることが報告されています。さらに食後のTG値は空腹時のTG値以上に動脈硬化性疾患と関与することが国内外の様々な研究で明らかにされていますが、食後高脂血症の成因については十分に明らかにされていません。また食後高TG血症はLDLやHDLの組成とも密接に関係していますが、組成の日内変動と動脈硬化との関係性についても明らかにされていません。

そこで、「2型糖尿病患者にたいする食後高脂血症についての研究(承認番号：2716)」の研究にご協力頂いた方を対象に、各食前および食後血糖測定(いわゆるターゲット)時に同時にTG値、食後高TG血症とLPL、LPLの阻害因子およびLDL-C 亜分画、HDL-C 亜分画、さらに動脈硬化関連検査との関連、また脂質異常や心血管疾患の発症とも密接に関連することが報告されている血中アンジオポエチン様蛋白(ANGPTL)濃度、骨代謝関連項目、LDL・HDL脂質検査項目や合併症、胸腹骨盤単純CTでの画像検査による各種体積、面積との関連を後方視的に検討することを目的としています。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、血圧(収縮期/拡張期)、脈拍、糖尿病罹病期間、合併症の有無、内臓脂肪面積、各臓器体積、脂肪体積、診断病名、既往歴、現病歴、嗜好歴(喫煙歴・飲酒歴)、家族歴、併用薬、血液・尿検査項目(血算、生化学、糖尿病関連項目、脂質関連検査項目、ANGPTL濃度、AGE関連項目、骨代謝関連項目)

5 . 外部への試料・情報の提供

該当なし

6 . 研究組織

研究責任者 医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌学部門 長池 弘江

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌学部門 氏名：長池弘江

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8947